

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ふたば		
○保護者評価実施期間	令和 8年 3月 1日		～ 令和 8年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15人	(回答者数) 12人
○従業者評価実施期間	令和 8年 3月 16日		～ 令和 8年 3月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペース、生活空間は常に清潔に保たれており気持ちの良い環境が整っている。	毎日の清掃に加え、遊具などこまめに消毒をしている。 その日の子ども達の様子に応じて、静養室や事務所で過ごせる環境を整えている。	引き続き、子ども達が安全に安心して楽しく過ごせるよう心地良い環境整備に取り組んでいく。
2	子ども達の特性を理解し、一人ひとりに合った支援を提供している。	お子様の発達や特性を理解した上で専門的な分析が行えるよう定期研修を行い、社員教育の機会を設けている。 毎日の振り返りをする事で子ども達の変化や様子を共有している。	引き続き、お子様を理解し適切な支援を提供できるよう、安心してご利用していただけるよう、職員の学びを継続していく。
3	保護者にお話を伺い、子ども達の様子を見ながら必要な課題を見つけ個別支援計画書を作成している。	個別支援計画書を作成する際は、現場での様子も共有し見方に偏りが出ないように工夫している。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の子供達と一緒に活動する機会がなかなか作れない。	下校後の限られた時間では事業所のプログラム以外の取り組みが難しかった。学休日には外へ出かける事も多いので事業所以外の子供達との交流はあるが、計画して一緒に活動するまでには至らなかった。	地域で行われているイベントや教室にも参加できるよう情報収集しながら、いろいろな人と交流できる機会を増やせるよう計画を立てる。
2	保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど家族への支援。また、兄弟向けのイベントの開催により兄弟同士の交流の機会が設けられるなど、兄弟への支援が十分ではない。	・参加しやすい日程調整が難しく計画できなかった。 ・きょうだい児支援に関してはニーズの把握が十分にできていない。	保護者様にも意見を聞きながら参加しやすい日程を調整し、実施できるよう検討する。
3	家族に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング)や家族も参加できる研修会や情報提供の機会が十分ではない。	家族支援として、モニタリング時や送迎時に職員が学んだスキルをお伝えする事はあるが実際に保護者を対象とした研修会等は実施できていない。	家族も参加できる研修会などの情報収集を行い、日程を調整しながら学べる場を設けられるようにしていく。